

第2期和歌山県循環器病対策推進計画の骨子

計画の趣旨

(1) 計画策定の根拠

脳卒中、心臓病等の循環器病は、がんに次ぐ死亡原因となっていること等から、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」を施行（令和元年12月）

(2) 計画の期間

令和6年度から令和11年度まで（6年間）

主な現状

※下位を、朱書き

○健康寿命（令和元年） ベスト順

男性72.39年（全国32位）女性75.33年（全国31位）

○死亡割合（令和4年人口動態統計確定数）

がん：23.4% 心疾患・脳血管疾患：21.9%

○年齢調整死亡率（令和2年人口動態統計特殊報告）

脳血管疾患（人口10万対） ベスト順

男性87.9（全国14位）女性48.5（全国6位）

虚血性心疾患（人口10万対） ワースト順

男性114.5（**全国1位**）女性46.5（**全国2位**）

○受療率外来（令和2年患者調査 人口10万対）ワースト順

高血圧性疾患 652（**全国5位**）糖尿病 209（**全国5位**）

○収縮期血圧140mmHg以上の割合

LDLコレステロール値160mg/dl以上の割合

（第8回NDBオープンデータ） ワースト順

血圧 男性25.5%（**全国4位**） 女性19.5%（**全国6位**）

LDL 男性13.5%（**全国18位**） 女性15.0%（**全国4位**）

血圧は男女ともすべての年代において、全国値より高い

○特定健康診査の実施率（令和3年度） ワースト順

48.9%（**全国3位**） 40歳代・50歳代が特に低い

○救急要請（令和3年消防庁統計調査系システムより）

心疾患等・脳疾患：27.9%

全体目標

(1) 計画のめざすべき姿

循環器病を予防し、医療の充実と健康維持・増進の実現をめざす

(2) 全体目標

健康寿命の延伸

脳血管疾患、心疾患の年齢調整死亡率の減少

●重点取り組み

施策の方向性と主な取組

I 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

生活習慣の改善に向けた正しい知識の普及

【主な課題】

- ・循環器病への正しい理解
- ・生活習慣病の発症予防・重症化予防

- 循環器病の正しい知識の普及
- こどもの頃からの健康的な生活習慣の知識の普及
- 野菜摂取の普及対策と減塩対策の推進
- 運動習慣の定着事業や禁煙・受動喫煙防止対策の推進
- 生活習慣病の発症予防と重症化予防の推進
- かかりつけ医、かかりつけ薬局の推奨

等

II 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

1 循環器病を予防する健診の普及

【主な課題】

- ・特定健康診査・特定保健指導の実施率向上

- テレビやインターネット等を利用した受診勧奨
- ハイリスク者への特定保健指導の実施や医療機関への受診勧奨
- 保健指導実施者への研修の実施

等

2 急性期医療提供体制

【主な課題】

- ・早期受診の啓発
- ・早期に専門医療機関での治療

- 受療行動の啓発
- 急性期医療連携体制の整備
- 遠隔救急支援システムの推進
- 心肺蘇生法の応急処置に関する知識や技術の普及
- ドクターヘリの運航

等

3 切れ目のない医療提供体制の構築・患者支援

【主な課題】

- ・医療連携体制の強化
- ・後遺症に対する患者支援
- ・治療と仕事の両立支援・就労支援

- 継続的なリハビリテーションの実施
- 医療連携体制の強化
- かかりつけ医、かかりつけ薬局の推奨
- 医療と介護の連携支援の強化
- 新興感染症発生・まん延時等の有事を見据えた対策の推進
- 後遺症に対する患者支援、緩和ケア支援
- 情報提供・相談体制の整備、相談支援を行う者の人材育成
- 治療と仕事の両立支援

等

III 循環器病に関するデータの活用

循環器病に関するデータ分析と情報提供

- 健診情報を活用した医療費分析
- 循環器病の診療情報の分析

等